

2019年11月28日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研 結婚総合意識調査2019

- 約8割は結婚を機としたイベントを実施。72.9%がウエディングパーティを行っている
- 半数以上がウエディングパーティのバリエーションの広がりを知り、年代が若いほどその傾向が強く、ウエディングパーティのバリエーションに広がりが見られる
- 結婚による生活の変化において、精神的な繋がりが得られることが男女共通の変化

※ウエディングパーティ：「披露宴・披露パーティ」「親族中心の食事会」「その他のパーティ」の総称

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都品川区 代表取締役社長 柏村 美生）が運営するリクルートブライダル総研では、結婚や結婚式について詳細を把握するために、「結婚総合意識調査2019」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

＜結婚を機としたイベント実施割合＞……………P3～5

80.7%は結婚を機としたイベントを実施し、ウエディングパーティ実施割合は72.9%

- ＞ 結婚を機としたイベント実施割合：80.7%（ウエディングパーティ：72.9%、挙式：2.7%、写真撮影：5.0%）
- ＞ ウエディングパーティ実施割合：72.9%（披露宴・披露パーティ：51.1%、親族中心の食事会：21.6%／その他のウエディングパーティ：0.3%）

20代、30代の7割以上はウエディングパーティを実施している

- ＞ ウエディングパーティ実施割合：20代 74.6% / 30代 74.5% / 40代 56.7%

再婚層の約6割がウエディングパーティを実施している

- ＞ ウエディングパーティ実施割合：新郎・新婦ともに初婚層 77.2% / いずれかまたは両方再婚層 57.2%

妊娠層の半数以上はウエディングパーティを実施している

- ＞ ウエディングパーティ実施割合：新婦は妊娠していた層 56.5% / 新婦は妊娠していなかった層 76.2%

結婚相手との出会い方によって、ウエディングパーティ実施割合に違い。特に、「友人の紹介」「婚活サービス利用」といった、友人やサービスを介した出会いをした人の実施割合が高い

- ＞ ウエディングパーティ実施割合：職縁 69.4% / 学校・サークル 75.9% / 友人の紹介 79.3% / 婚活サービス利用 79.0% / その他 62.3%

＜ウエディングパーティに対する意識＞……………P6

半数以上がウエディングパーティのスタイルの広がりを知り、自分たちに合ったウエディングパーティの実施を望んでいる。年代が若いほどその傾向が強く、ウエディングパーティスタイルのバリエーションはさらに広がりつつある

- ＞ 「ウエディングパーティのスタイルのバリエーションが広がっていると感じる」割合：全体 55.1% / 20代 59.2% / 30代 53.1% / 40代 39.0%
- ＞ 「自分たちに合ったウエディングパーティのスタイルがあると思う」割合：全体 57.5% / 20代 61.3% / 30代 54.9% / 40代 46.1%

＜結婚することによる生活の変化＞……………P7

結婚による生活の変化において、「家族としての絆が得られる」「好きな人と一緒にいられてうれしい」「精神的安定が得られる」など、精神的なつながりが得られることが、男女共通の3大変化

- ＞ 「家族としての絆が得られる（男性 71.1% / 女性 81.3%）」「好きな人と一緒にいられてうれしい（男性 69.4% / 女性 82.3%）」「精神的安定が得られる（男性 63.7% / 女性 74.2%）」

◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、「結婚総合意識調査2019（リクルートブライダル総研調べ）」と明記いただきますようお願い申し上げます。

◆ 「結婚総合意識調査2019」の詳細は、下記広報担当までご連絡ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要と回答者のプロフィール】

■2019年調査

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 予備調査：2019年5月10日(金)～2019年5月31日(金)

本調査：2019年5月22日(水)～2019年6月5日(水)

【本調査対象】 “結婚した時期”を「2018年4月～2019年3月」と回答した、20～49歳の既婚者

【本調査集計サンプル数】 1500人

割付：「厚生労働省 人口動態統計 平成29年 平均婚姻年齢；初婚者数・再婚者数(平成29年に結婚生活に入り届け出た夫・妻別)夫ー妻の同居時の年齢(各歳)・都道府県(21大都市再掲)別」を基に全国を17エリア×性別×年代(計102セル)毎の婚姻件数比率に近くなるよう割付を行った

【回答者の男女別結婚時の年齢×居住地域】

		北海道	東北	北関東	北陸甲信越	首都圏	東海	関西	中国	四国	九州・沖縄
男性	20代(19歳含む)	12	22	12	32	96	35	62	21	9	41
	30代	11	18	20	29	94	28	45	15	9	33
	40代	4	5	5	7	27	8	17	5	3	10
女性	20代(19歳含む)	17	30	21	45	129	50	80	27	13	52
	30代	9	15	14	20	78	18	41	14	6	29
	40代	2	3	2	4	16	6	7	3	2	5

*「北海道・男性」「東北・男性」「首都圏・男性」「関西・男性」「中国・男性」において、結婚時の年齢を不明処理しているサンプルが各1～3サンプルあり、年齢別分析では除いている

【注意点】

図表の構成比(%)は百分率で表示してあります。百分率は小数第二位を四捨五入してあるため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、図表の平均も小数第二位を四捨五入して表示してあります。

■過去調査の概要

	2018年調査：本調査(予備調査含む)	2017年調査：本調査(予備調査含む)	2016年調査：本調査(予備調査含む)
調査方法	インターネットによるアンケート調査	インターネットによるアンケート調査	インターネットによるアンケート調査
調査期間	2018年4月9日(月)～ 2018年5月31日(木)	2017年4月7日(金)～ 2017年5月2日(火)	2016年4月8日(金)～ 2016年5月30日(月)
調査対象	結婚した時期が「2017年4月～ 2018年3月」の20～49歳既婚者	結婚した時期が「2016年4月～ 2017年3月」の20～49歳既婚者	結婚した時期が「2015年4月～ 2016年3月」の20～49歳既婚者
集計サンプル	1500人	1500人	1500人
割り付け	厚生労働省「人口動態統計の婚姻件数*」を基に、18エリア毎の婚姻件数比率に近くなるようにサンプル数を割り付けた		

*2018年調査は平成28年度、2017年調査は平成27年度、2016年調査は平成26年度の件数

【回答者の男女別結婚時の年齢×居住地域】

	2018年調査							2017年調査							2016年調査						
	男性			女性				男性			女性				男性			女性			
	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代
北海道	10	15	5	16	12	2	7	17	5	15	11	4	6	15	13	13	10	7			
東北	12	15	18	27	17	2	8	26	12	22	19	5	12	20	17	26	19	2			
北関東	10	14	14	21	15	1	10	21	8	17	18	3	7	16	9	18	18	2			
北陸甲信越	15	33	14	31	27	5	5	25	29	33	29	1	18	33	17	38	24	2			
首都圏	59	120	55	125	90	22	47	111	79	118	102	16	46	129	63	117	103	15			
東海	19	35	15	46	21	2	18	29	21	37	27	4	17	36	12	42	21	6			
関西	28	59	33	60	53	8	34	56	30	63	52	6	18	79	27	66	46	9			
中国	14	21	6	22	14	4	17	21	3	24	16	2	11	17	7	21	19	1			
四国	6	13	1	10	9	1	8	7	5	10	7	4	10	14	1	7	12	1			
九州・沖縄	28	41	16	42	37	5	20	41	25	47	34	5	19	38	19	47	32	6			

※各年：20代には19歳を含む

※2018年調査：「北陸甲信越・男性」「首都圏・男性」「関西・男性」「関西・女性」「中国・女性」「九州・沖縄・女性」に結婚時の年齢が不明だったサンプルが各1～2サンプルあり、年齢別分析では除いている

※2017年調査：「北陸甲信越・男性」「首都圏・男性」「首都圏・女性」「東海・女性」「関西・男性」に結婚時の年齢が不明だったサンプルが各1～2サンプルあり、年齢別分析では除いている

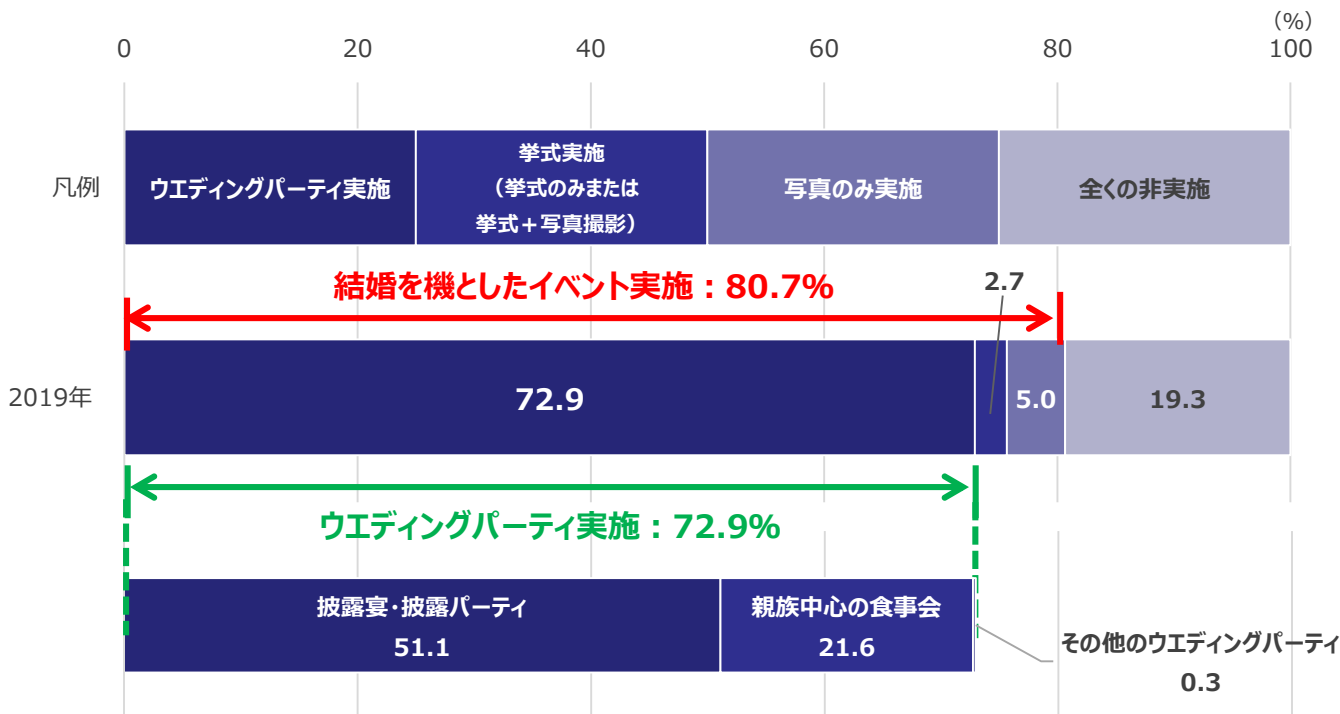
※2016年調査：「北関東・男性」「首都圏・男性」「中国・男性」「九州・沖縄・男性」に結婚時の年齢が不明だったサンプルが各1サンプルあり、年齢別分析では除いている

80.7%は結婚を機としたイベントを実施し、ウエディングパーティ実施割合は72.9%

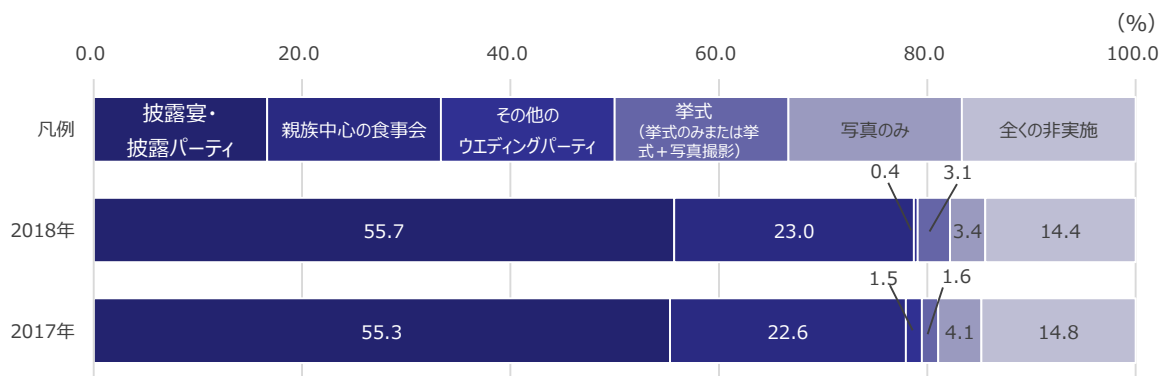
- 結婚を機としたイベント実施割合：80.7%（ウエディングパーティ：72.9%、挙式：2.7%、写真撮影：5.0%）
- ウエディングパーティ実施割合：72.9%（披露宴・披露パーティ：51.1%、親族中心の食事会：21.6%／その他のウエディングパーティ：0.3%）

■結婚を機としたイベント実施状況（全体／単一回答）

※ウエディングパーティ：「披露宴・披露パーティ」「親族中心の食事会」「その他のパーティ」の総称



<参考>2017年、2018年調査の結婚を機としたイベント実施状況 ※2019年とは聴取方法が異なるため参考値



実施したイベント（実施予定＜内容・時期決定＞含む）をいくつでも選択した結果を組み合わせで単一回答化している。組み合わせは以下の通り

- 披露宴・披露パーティ実施者：「披露宴・披露パーティ実施かつ、親族中心の食事会、その他のウエディングパーティ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「披露宴・披露パーティのみ実施」
- 親族中心の食事会実施者：「親族中心の食事会実施かつ、その他のウエディングパーティ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「親族中心の食事会のみ実施」
- その他のウエディングパーティ実施者：「その他のウエディングパーティ実施かつ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「その他のウエディングパーティのみ実施者」
- 挙式実施者：「挙式実施かつ、写真撮影実施」と「挙式のみ実施」
- 写真撮影実施者：「写真撮影のみ実施」

ウエディングパーティの実施割合（各状況別）

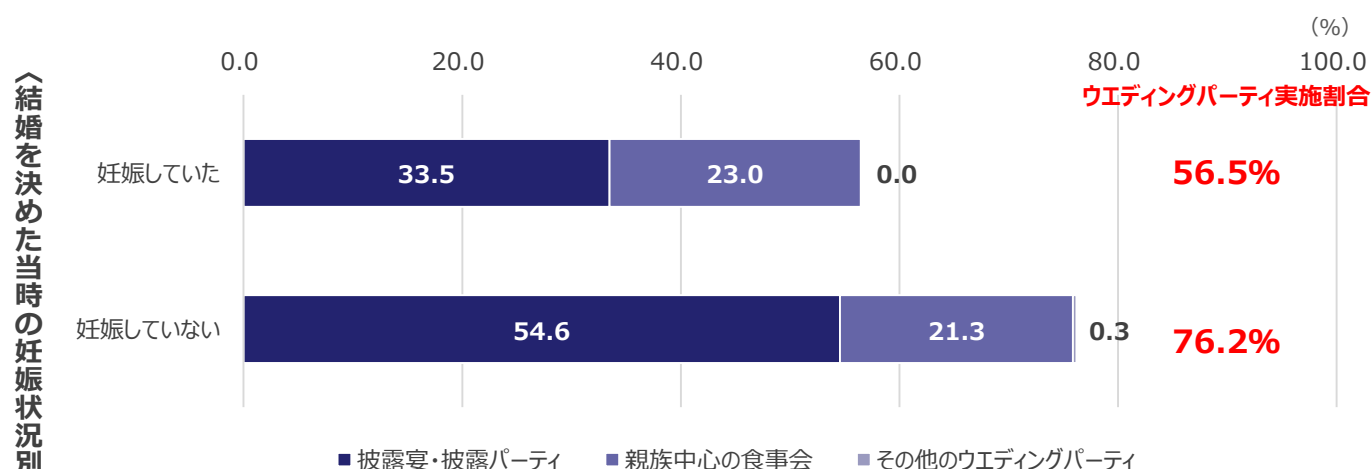
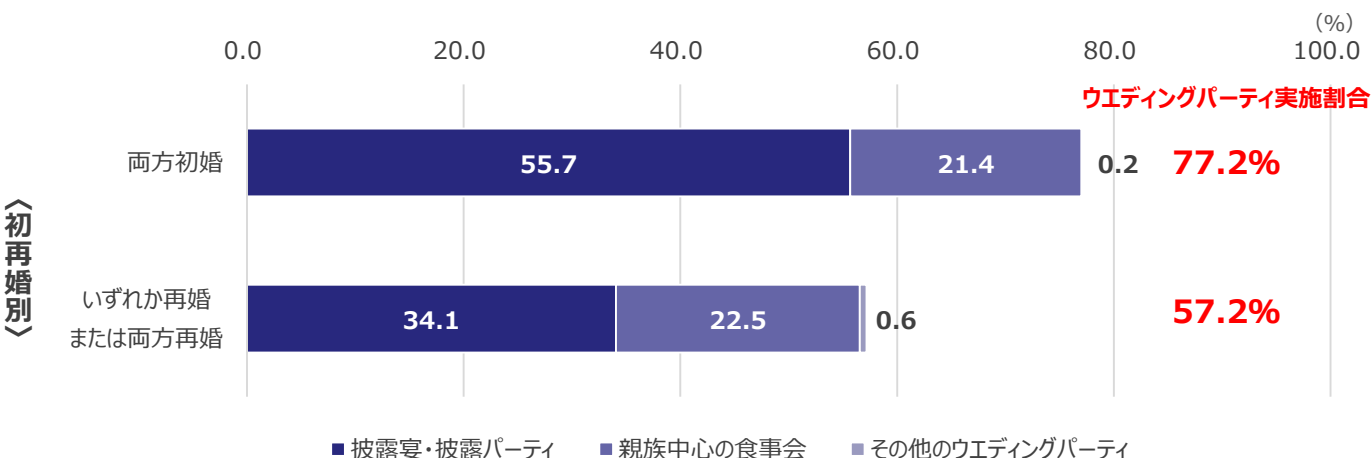
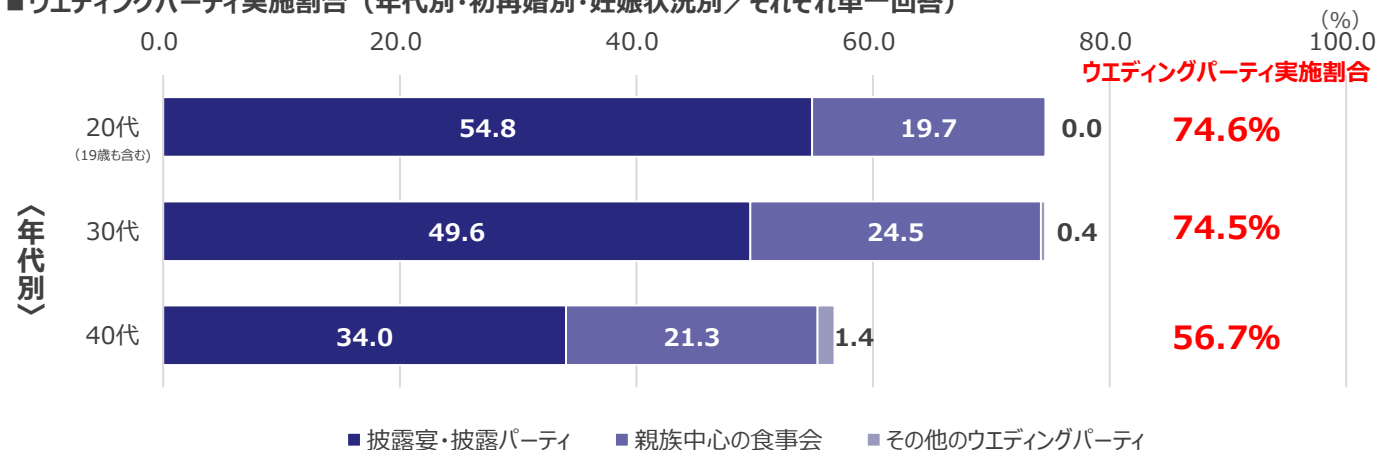
20代、30代の7割以上はウエディングパーティを実施。再婚層は約6割、妊娠層は半数以上がウエディングパーティを実施している

＜ウエディングパーティ実施割合＞

- 20代 74.6% / 30代 74.5% / 40代 56.7%
- 新郎・新婦ともに初婚層 77.2% / いずれかまたは両方再婚層 57.2%
- 新婦は妊娠していた層（※） 56.5% / 新婦は妊娠していなかった層（※） 76.2%

（※）結婚を決めた当時の妊娠状況

■ウエディングパーティ実施割合（年代別・初再婚別・妊娠状況別／それぞれ単一回答）



実施したイベント（実施予定＜内容・時期決定＞含む）を複数選択で回答した結果を組み合わせで単一回答化している。組み合わせは以下の通り

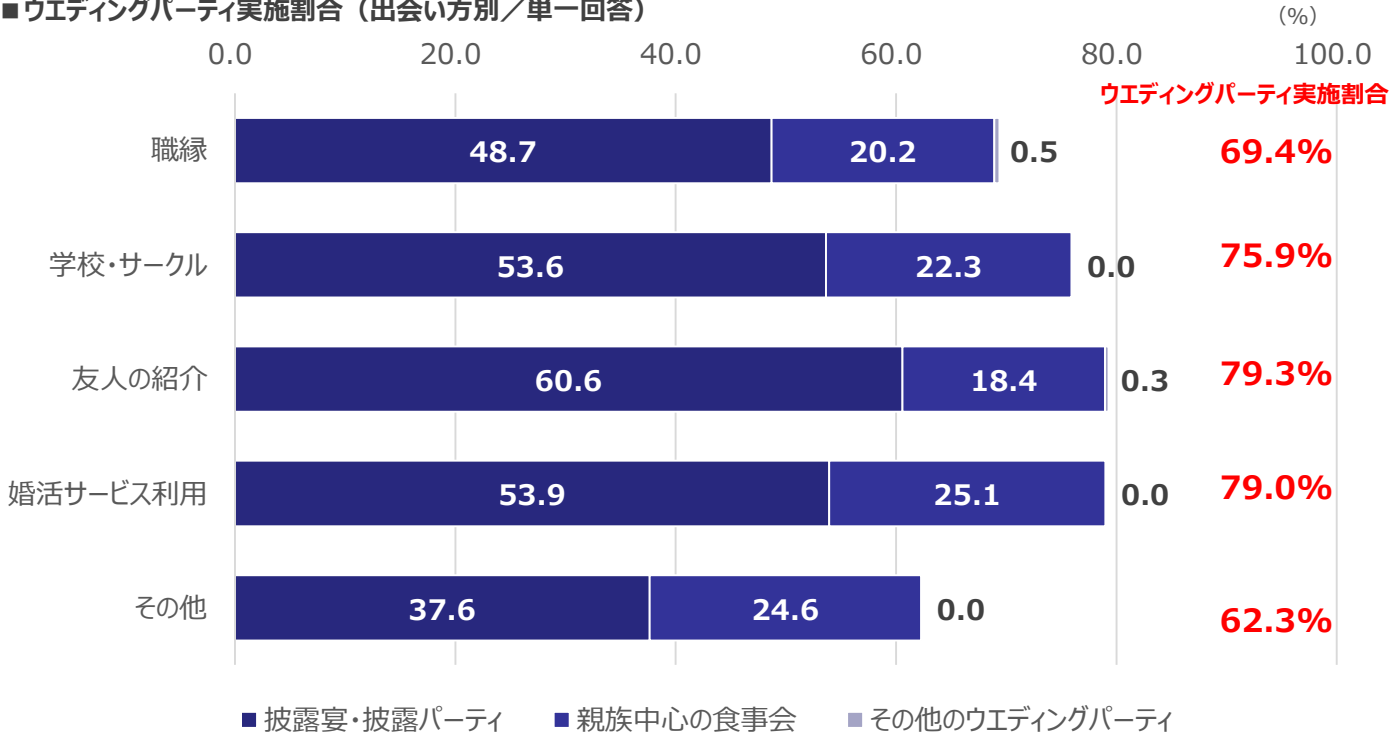
- 披露宴・披露パーティ実施者：「披露宴・披露パーティ実施かつ、親族中心の食事会、その他のウエディングパーティ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「披露宴・披露パーティのみ実施」
- 親族中心の食事会実施者：「親族中心の食事会実施かつ、その他のウエディングパーティ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「親族中心の食事会のみ実施」
- その他のウエディングパーティ実施者：「その他のウエディングパーティ実施かつ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「その他のウエディングパーティのみ実施者」

結婚相手との出会い方とウエディングパーティ実施状況

結婚相手との出会い方によって、ウエディングパーティ実施割合に違い。特に、「友人の紹介」「婚活サービス利用」といった、友人やサービスを介した出会いをした人の実施割合が高い

➤ ウエディングパーティ実施割合：職縁 69.4%／学校・サークル 75.9%／友人の紹介 79.3%／婚活サービス利用 79.0%／その他 62.3%

■ウエディングパーティ実施割合（出会い方別／単一回答）



実施したイベント（実施予定＜内容・時期決定＞含む）を複数選択で回答した結果を組み合わせる単一回答化している。組み合わせは以下の通り

- 披露宴・披露パーティ実施者：「披露宴・披露パーティ実施かつ、親族中心の食事会、その他のウエディングパーティ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「披露宴・披露パーティのみ実施」
- 親族中心の食事会実施者：「親族中心の食事会実施かつ、その他のウエディングパーティ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「親族中心の食事会のみ実施」
- その他のウエディングパーティ実施者：「その他のウエディングパーティ実施かつ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「その他のウエディングパーティのみ実施者」

＜参考＞各出会い方軸の内訳

職縁	同じ会社や職場
	同じ会社や職場ではないが、仕事やアルバイトを通じて
学校・サークル	同じ学校やクラス
	サークルや趣味・習い事の活動を通じて
友人の紹介	合コン
	合コン以外の友人の紹介
婚活サービス利用	結婚相談所
	婚活サイト・アプリ
	恋活サイト・アプリ
	婚活パーティ・イベント
その他	家族や親戚の紹介
	お見合い
	幼なじみ・近所
	SNSで
	SNS以外のインターネット（婚活サイト・恋活サイト除く）
	街中や旅先で
	その他

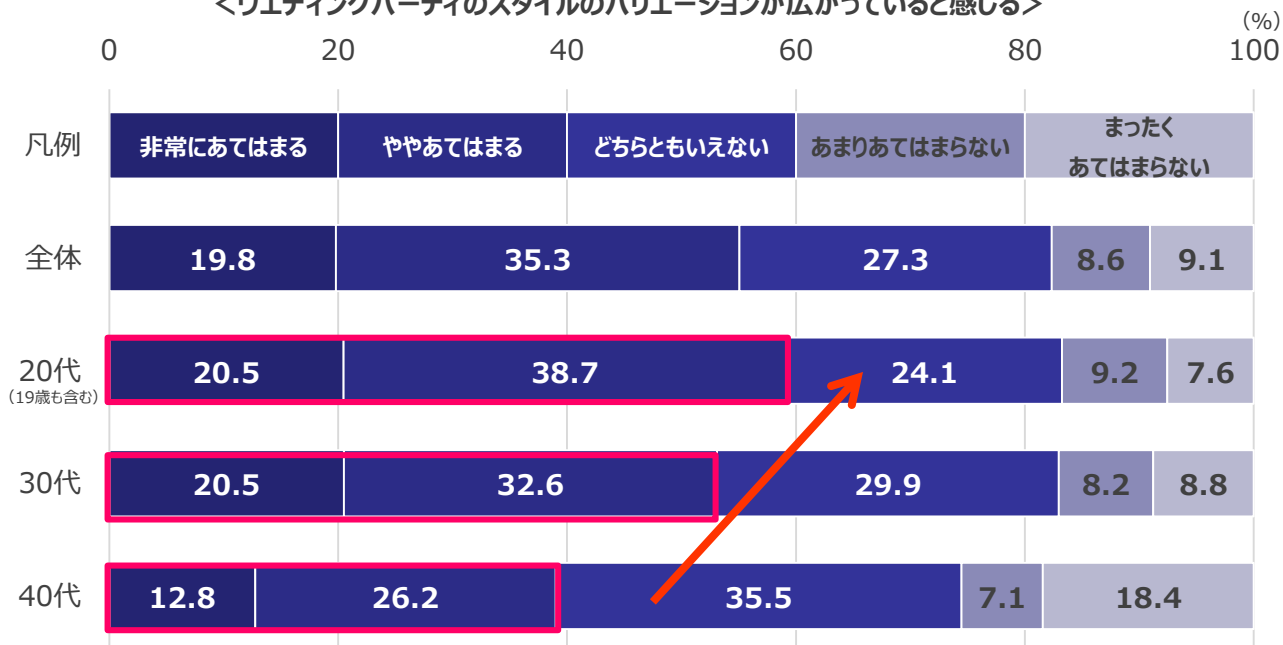
ウェディングパーティに対する意識(年代別)

半数以上がウェディングパーティのスタイルの広がりを知り、自分たちに合ったウェディングパーティの実施を望んでいる。
年代が若いほどその傾向が強く、ウェディングパーティスタイルのバリエーションはさらに広がりつつある

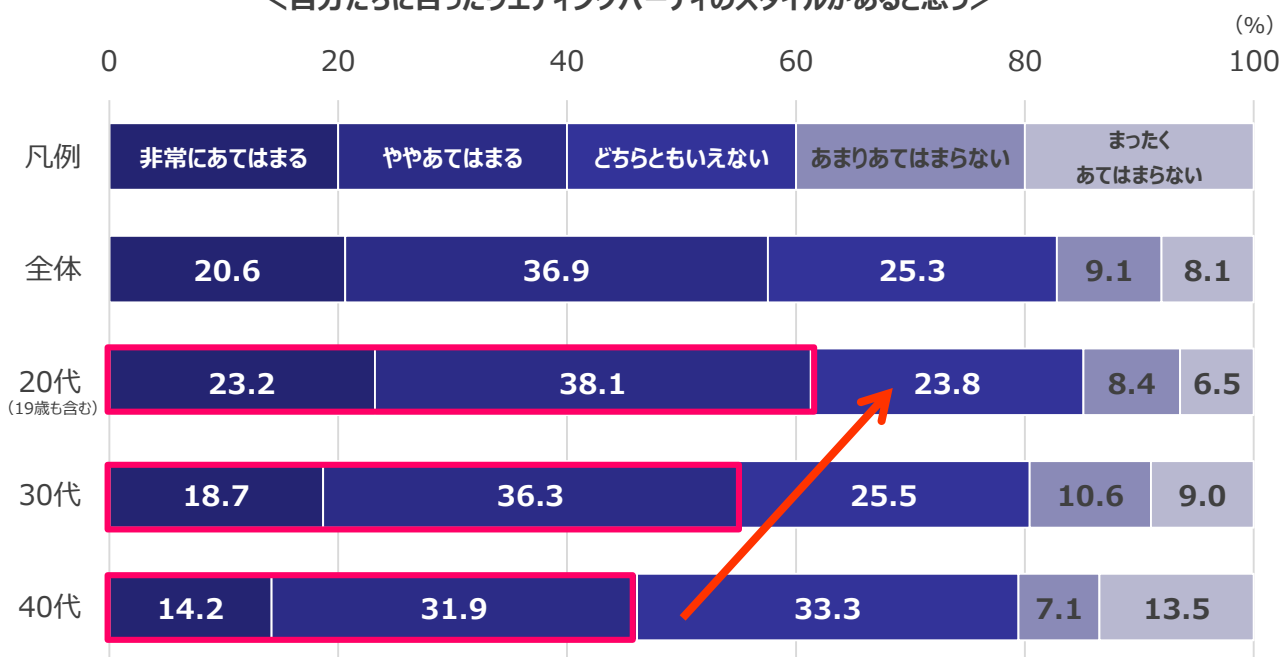
- 「ウェディングパーティのスタイルのバリエーションが広がっていると感じる」割合：
全体 55.1% / 20代 59.2% / 30代 53.1% / 40代 39.0%
- 「自分たちに合ったウェディングパーティのスタイルがあると思う」割合：
全体 57.5% / 20代 61.3% / 30代 54.9% / 40代 46.1%

■ ウェディングパーティに対する意識(全体・年代別/それぞれ単一回答)

＜ウェディングパーティのスタイルのバリエーションが広がっていると感じる＞



＜自分たちに合ったウェディングパーティのスタイルがあると思う＞



結婚による生活の変化(男女別)

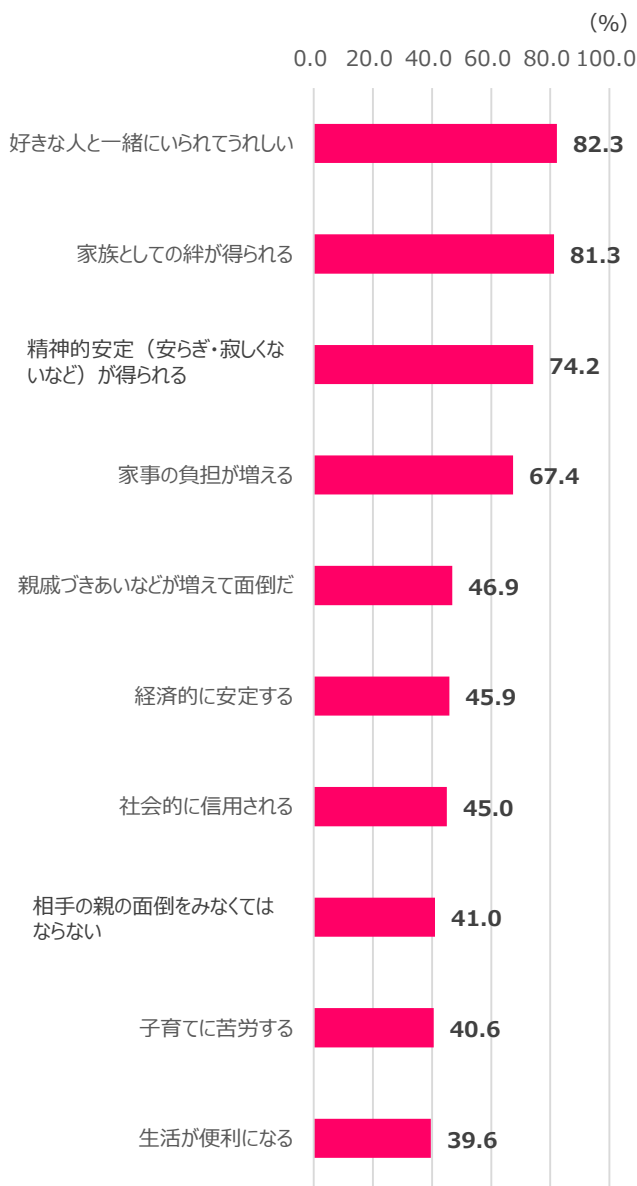
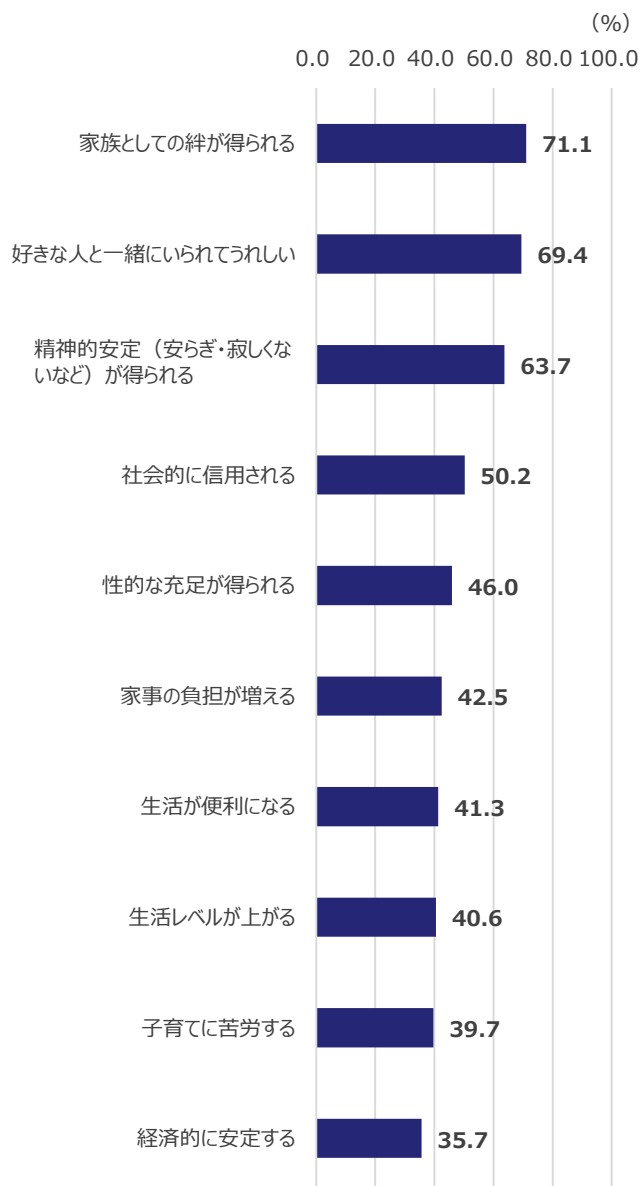
結婚による生活の変化において、「家族としての絆が得られる」「好きな人と一緒にいられてうれしい」「精神的安定が得られる」など、精神的なつながりが得られることが、男女共通の3大変化

➢ 「家族としての絆が得られる（男性 71.1%／女性 81.3%）」「好きな人と一緒にいられてうれしい（男性 69.4%／女性 82.3%）」「精神的安定が得られる（男性 63.7%／女性 74.2%）」

■結婚生活観（結婚してどのように変わる（変わった）と思うか）上位10項目（全体／各単一回答／非常にそう思う・ややそう思う計）

＜男性＞

＜女性＞



※各設問に対して「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の 5 段階で聴取。
※グラフはそのうち「非常にそう思う」「ややそう思う」の計の割合の降順にソート